

広島県聴覚障害者センターだより

H C C

Hiroshima Chosho Center

広島県聴覚障害者センター

〒734-0007 広島市南区皆実町1丁目 6-29

電話:082-254-0085

FAX:082-254-0087

☆HP フォームから問い合わせください☆



2026年 10月

No.112 2026(令和8)年10月1日発行 (毎月1日発行)



聴覚障害者への理解啓発のために

NPO 法人 広島県難聴者・中途失聴者支援協会

堀 宏子

「耳マーク」をご存じですか?「耳マーク」は、名古屋市中途失聴・難聴者福祉連合会の高木史郎氏が発案し、星野善晃氏のデザインで、必要な配慮を求めるためのシンボルマークです。

1975年5月に考案され、同年10月に「耳のシンボルマーク」として名古屋市で制定されました。聴覚障害者は外部からわかりにくいいため、本人が「聞こえない・聞こえにくい」と伝えなければ周囲に理解してもらえないことがあります。

昨年「耳マーク」制定50周年を迎えた今、近年公共施設の受付や病院、お店などで「耳マーク」を見かけるようになりました。しかし、「耳マーク」があっても聴覚障害者への理解や対応が十分でない場合もあります。「耳マークカード」は、自分に必要なコミュニケーション方法や配慮を伝えるためのカードです。聴覚障害者自身が積極的に活用し、社会全体にも「耳マーク」の意味を知ってもらうことで、円滑なコミュニケーションや情報を得られる社会につながることを願っています。

『国際盲ろうの日』

特定非営利活動法人 広島盲ろう者友の会

理事長 大杉勝則



昨年、国連では、ヘレン・ケラーが生まれた6月27日を『国際盲ろうの日』と決めました。日本をはじめ、世界中に『盲ろう者』の存在と実態を知っていただき、より理解が広がることを期待しています。『盲ろう者』とは、全く見えない聞こえない人だけではなく、見えにくい聞こえにくい、様々な見え方聞こえ方の人たちすべてのことです。手話がよく見えなくておしゃべりが難しい。太陽が眩しくてつらい。暗いと一人で歩くのにとっても神経を使って疲れる。などなど、日々の生活の中で苦労している人もたくさんいます。

誰もが安心して暮らせる社会を目指し、みなさんと協力し合いながら、啓発活動に取り組んでいきたいと思っています。

～センター職員募集～

常勤職員1名・非常勤職員1名を募集しております。

募集内容の詳細につきましては、こちらに記載しておりますので、ぜひご確認ください。

